

平成24年度 白老地域事業進捗状況

(1)空間形成事業

①植栽事業

平成18年度、平成19年度に植栽した陣屋地区、ポロト自然休養林地区及びポロト地区の維持管理等を継続して実施中。

各地区において、生育観察・定期巡視を実施し状況を把握するとともに、除草・草刈作業、鹿対策ネット、木道等の防腐処理作業を実施している。

陣屋地区においては、昨年度実施した生育調査の結果から、土嚢を積み水を堰き止めることで少しでも水位を保つ工夫をするほか、除草作業をする箇所、しない箇所を分けて生育状況の推移を観察することとした。



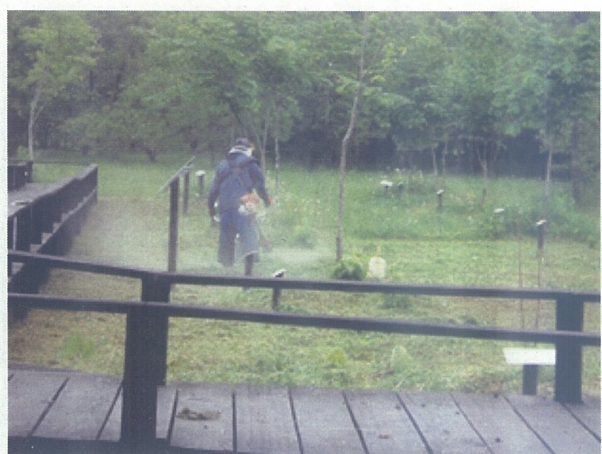
木道防腐処理(ポロト地区)



土嚢積作業(陣屋地区)



枝払い作業(ポロト地区)



草刈作業(ポロト地区)

平成24年度 白老地域事業進捗状況

②栽培事業

アイヌの人々が伝統的文化活動を行う際に必要となる自然素材を確保するため、森野地区での試験栽培を引き続き実施するとともに、ヨコスト地区で海浜植物の試験栽培を実施し、採取及び採捕の空間確保に取り組んでいる。

また、穀物(アワ、ヒエ、キビ)、苗木、有用植物、海浜植物の保育、定期巡視を随時行い生育状況を記録するとともに、収穫物については、伝承者育成事業、体験交流事業に利活用するほか、穀物の一部を他地域での事業に活用する予定。

昨年度の収穫実績(アワ60kg、ヒエ10kg、キビ30kg)



キビの間引き作業(森野地区)



樹木の剪定(森野地区)



野草園の除草作業(森野地区)



生育したハマボウフウ(ヨコスト)

平成24年度 白老地域事業進捗状況

③空間整備(コタンの再生)

ポロト湖畔地区において、アイヌの人々の歴史や自然観に根ざした工芸技術等の伝承活動の場や自然と共生していたアイヌの人々の知恵を学習するため、イオル空間としてのコタンの再生等を引き続き実施。

復元したチセの薫煙作業と周辺の草刈作業を実施。また、昨年度製作したチブ(丸木舟)とイタオマチブ(板綴り舟)の維持管理をするとともに、今後の展示方法等について協議を進めているところである。

チブ及びイタオマチブについては、4月28日にアイヌ民族博物館の協力によりチブサンケ(進水式)を開催した。



復元したチセ



チブサンケ



イタオマチブ



チブ

平成24年度 白老地域事業進捗状況

(2) 空間活用事業

① 体験交流事業

一般社団法人白老モシリが中心となって、地域内の各種事業と連携を図りながら、イオル空間を活用した各種体験事業を実施している。

これまでに山のイオル体験1回、海の食文化体験2回、ミニ体験学習3回、そのほかに出前講座として3回職員を派遣している。

アイヌ文化の体験・体感交流事業は、教育現場でのアイヌ文化の理解・普及促進を図るため、教職員を対象に体験学習、研究者・学芸員による講義など3日間6講座を実施した。



山のイオル「山菜学習」



社台小学校での講話



竹浦中学校「山菜学習」



ゴザ編み体験



ティッシュケース作り



教職員への講義

平成24年度 白老地域事業進捗状況

(3)空間の管理運営

①しらおいイオル事務所「チキサニ」運営事業

教育(学習)型イオル事業運営の拠点として、アイヌの人々が主体的に空間の管理運営を行うとともに、アイヌの人々や広く一般に対して、アイヌ民族や文化に関する学習機会や情報を提供する場として活用している。

また、復元したチセの適正な維持管理を実施するとともに、アイヌ民族や文化に関する学習機会や情報を提供する場として活用し、年々利用者は増加傾向にある。



②管理運営事業

白老地域のイオル再生事業全体について、総合的に管理運営し、地域の実施計画のとりまとめや関係機関との連絡調整を行っている。

アイヌ施策推進室職員のほか、学芸員1名を配置し、各種事業の指導、協力など白老地域におけるイオル再生事業について総合的な調整を行っている。